

野々市町地域公共交通活性化協議会

平成21年3月4日設置



概要

野々市町では、平成14年度に策定した「都市交通円滑化対策検討調査」において、コミュニティバス導入等の検討を行い、平成15年度から、コミュニティバス「のっティ」を導入した。現在、3台4ルートで試験運行しており、利用者は80万人を突破している。一方、導入から6年を経過した現在、下記に示すような課題も浮上してきており、親しみある町民の足として更なる利便性向上を目指した「地域公共交通連携計画」を策定するものです。

○地域公共交通の現況：

- ・コミュニティバス「のっティ」・JR・北陸鉄道石川線・北陸鉄道路線バス

○地域公共交通の課題

1. 都市構造の変化への対応：
都市計画道路の新規開通や区画整理事業、開発行為等の面的整備が進み、都市構造に変化が生じており、住民の移動における要望も多様化してきている。
2. コミュニティバスを含む公共交通機関の連携による利便性の向上：
現在、町内には4種類の公共交通機関があるが、それぞれの連携度が薄いため、十分な利活用が図られていない。
3. コミュニティバスの本格運行に向けたルート再編の検討：
上記都市基盤整備の進展に伴う大規模集客施設や公共公益施設等の新たな建設により、住民の集う場所や街並みに変化がみられ、新たなルートの創設や、従来ルートの見直しについて、経営面とのバランスを含めた検討が必要となる。

○調査の主な内容：

- ・公共交通現況・移動ニーズの把握調査
- ・アンケート調査（町民・コミュニティバス利用者）
- ・ヒアリング調査（JR・北陸鉄道石川線・路線バス利用者）
- ・シャトルバスによる新ルートの試験運行

○地域公共交通総合連携計画の構想（予定）

1. 現況調査、試験運行をふまえ、コミュニティバスを含む既存公共交通機関の活用及び連携のための方策の検討
2. 公共交通活性化施策の検討
3. 本格運行に向けたコミュニティバスルートの再編案の検討
4. 重点施策、コミュニティバス実証運行に関する検討（車両購入、バス停待ち環境や交通結節点の整備、利用促進策や経営計画の策定等）

